

西小コミュニティ通信

幌別西小学校が展開している「コミュニティ・スクール事業」をご紹介します

9月28日：連合町内会・小学校・中学校合同津波避難訓練を行います

9月28日の土曜授業の日に、地震津波避難訓練を実施します。西陵中学校校区は、緑陽中学校校区や幌別中学校校区と違って、学校が津波の時の避難場所ではありません。校区内4か所の高台に避難することになっています。したがって、いざというとき命を守るためには、自分はどこに避難したらよいかを住んでいる場所ごとにしておく必要があります。今年度は連合町内会の要請もあり、新たな避難訓練の形を考えました。以下、経緯と目的について少し詳しく説明します。

【今年度の避難訓練の考え方】

昨年まで、小学校では土曜授業の時に中学校と合同で、望洋公園まで避難する形（実際はその手前でしたが）をとっていました。学校にいるときに大津波警報が出たらどこに避難するかを確認するためです。

今年度は、連合町内会と合同で、校区全体に広がる避難場所に避難する形をとります。今回の訓練の目的は、「学校ではなく、家にいるとき大きな地震が来たらどこに避難するのか、その場所を確認する」というものです。連合町内会では毎年この避難訓練を実施して、家からの避難場所を確認していますが、なかなか子供たちの参加が難しい状況でした。

本来避難訓練は、「自分の家から避難場所まで、どの経路で、どれくらいの時間で避難できるか」を確認するものですが、今年は学校が参加する初年度ということで、家から避難するのは、子供によっては難しく、安全面の心配が考えられました。そこで今回は、「一度学校に登校してから、自分の家の近くの避難場所に歩いてみる」という形にしています。それが、「場所を確認する」ということです。

予め、各家庭には家からどこに避難するかを確認してありますので、その避難場所ごとにグループを作り、学校から教員が引率しながら歩きます。避難場所に到着したら、町会の方にご挨拶いただいて、避難場所ごとに解散・帰宅する形をとります（お迎えがないご家庭は、教員が引率して集団で通学路まで戻ります）。

今回は、避難場所によっては歩く距離が長くなるので、雨が降った場合は中止とします。避難訓練中止の場合は、児童は登校後そのまま授業を受けて、3時間目終了後に下校します。



学校と4つの避難場所

【これからの方向性】

この形の避難訓練は隔年実施を考えています。来年度（令和2年）は昨年のように小中合同で学校からの避難、その次の年（令和3年）は連合町会と一緒に今年度の形・・・とすることによって、いろいろな場面を想定した避難訓練が実施できます。

今年度実施した後、しっかり考察して、次につなげていきたいと考えています。

地域の子供たちの命を守るため、学校・家庭・地域一体となって取り組みましょう。

みんな元気にラジオ体操！！

町会の方々に交じって、西小っ子も元気に体操に参加していました。休みになっても生活のリズムを崩さないことは、健康な心身の育成にとっても大切なことです。



西陵中学校区小中一貫教育推進協議会「全体交流会」

8月23日に西小と西陵中との教員同士の交流会が行われました。今回は、中学校の授業を見て、感想や授業づくりについて交流したり、小中一貫教育の取組について、グループごとにテーマを決めて話し合いました。



早速2学期最初の学習サポートに参加いただきました（一番左）

よろしくお願いします

9月から、登別市地域支援本部・西陵中学校区地域教育協議会・地域支援コーディネーターとして松平裕（まつだいら ゆたか）さんが着任されました。松平さんには、学習サポートや冬のスキー教室など、地域と学校をつなぐ部分でご協力いただきます。

発行：令和元年9月3日 第4号 登別市立幌別西小学校（学校運営協議会事務局）
TEL：0143-85-2364 FAX：0143-85-2025

◇この「西小コミュニティ通信」は、本校が推進するコミュニティ・スクール事業の活動を保護者、地域の皆様にご紹介する広報紙です。